

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公表番号】特表 2002-536989 (P2002-536989A)  
 【公表日】平成 14 年 11 月 5 日 (2002.11.5)  
 【出願番号】特願 2000-601127 (P2000-601127)  
 【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**  
**C 0 7 K 14/705 (2006.01)**  
**C 0 7 K 16/28 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/15 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/50 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/566 (2006.01)**  
**C 1 2 N 5/10 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A  
 C 0 7 K 14/705  
 C 0 7 K 16/28  
 G 0 1 N 33/15 Z  
 G 0 1 N 33/50 Z  
 G 0 1 N 33/566  
 C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 2 月 16 日 (2007.2.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配列番号：3 又は配列番号：4 のアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするヌクレオチドを含む、単離された DNA。

【請求項 2】 配列番号：1、配列番号：1 の 1 ~ 1 , 1 9 4 位、配列番号：2、及び配列番号：2 の 6 1 ~ 1 , 2 4 5 位からなる群より選択されるヌクレオチド配列を含む、請求項 1 の DNA 分子。

【請求項 3】 請求項 1 の DNA と高ストリンジェンシー条件下でハイブリダイズする DNA 分子。

【請求項 4】 請求項 1 の DNA を含む発現ベクター。

【請求項 5】 請求項 1 の DNA を含む組換え宿主細胞。

【請求項 6】 配列番号：3 又は配列番号：4 のアミノ酸配列を有する G P R 5 4 タンパク質を含む単離されたポリペプチド。

【請求項 7】 他のタンパク質を実質的に含まない、請求項 6 の単離されたポリペプチド。

【請求項 8】 単一のアミノ酸置換を含有する、請求項 6 の単離されたポリペプチド。

【請求項 9】 保存的であり、かつ G P R 5 4 とラットの G A L R 1、G A L R 2 又は G A L R 3 受容体とが同じアミノ酸を有している位置ではない位置でのアミノ酸置換を 2 個以上含有する、請求項 6 の単離されたポリペプチド。

【請求項 10】 (a) G P R 5 4 をコードする発現ベクターを細胞にトランスフェクトすること、

(b) G P R 5 4 を発現させるために十分な時間、トランスフェクトされた細胞を増殖させること、

(c) 物質の存在下及び非存在下で、G P R 5 4 の標識リガンドに細胞を曝すこと、

(d) 前記標識リガンドと G P R 5 4 との結合を測定すること、

ここにおいて、前記物質の存在下の方が、前記物質の非存在下よりも前記標識リガンドの結合量が少ない場合に、前記物質は G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであり、G P R 5 4 は配列番号：3 又は配列番号：4 のアミノ酸配列を有する、を含む、物質が G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであるか否かを決定するための方法。

【請求項 11】 (a) 細胞内で G P R 5 4 の発現を指示する発現ベクターを細胞にトランスフェクトすることにより、試験細胞を準備すること、

(b) 前記試験細胞を物質に曝すこと、

(c) 前記物質と前記試験細胞中の G P R 5 4 との結合量を測定すること、

(d) 前記物質と前記試験細胞中の G P R 5 4 との結合量と、前記物質と G P R 5 4 でトランスフェクトされていない対照細胞との結合量とを比較すること、

ここにおいて、前記対照細胞と比較して前記試験細胞の方が前記物質の結合量が多い場合に、前記物質は G P R 5 4 への結合能を有し、G P R 5 4 は配列番号：3 又は配列番号：4 のアミノ酸配列を有する、を含む、ある物質が G P R 5 4 との結合能を有するか否かを決定するための方法。

【請求項 12】 (a) 細胞内で G P R 5 4 の発現を指示する発現ベクターを細胞にトランスフェクトすることにより、試験細胞を準備すること、

(b) 前記試験細胞を、G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであると推測される物質に曝すこと、

(c) 前記物質に曝された前記試験細胞の機能的応答の量を測定すること、

(d) 前記試験細胞により示された機能的応答の量と、前記対照細胞により示された機能的応答の量とを比較すること、

ここにおいて、前記試験細胞により示された機能的応答の量が、前記対照細胞により示された機能的応答の量と異なっている場合に、前記物質が G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストであり、

前記対照細胞は、G P R 5 4 でトランスフェクトされていないが前記物質に曝された細胞、又は前記物質に曝されていない前記試験細胞であり、

G P R 5 4 は配列番号：3 又は配列番号：4 のアミノ酸配列を有する、を含む、G P R 5 4 のアゴニスト又はアンタゴニストを同定するための方法。

【請求項 13】 G P R 5 4 と特異的に結合する抗体であって、ここで G P R 5 4 は配列番号：3 又は配列番号：4 のアミノ酸配列を有する、前記抗体。